

# 京都府高等学校体育連盟主催事業における 新型コロナウイルス感染予防対策【専門部ルール】

専門部名： アーチェリー 専門部

策定日： 令和 4 年 4 月 1 日

## 1、大会開催の専門部独自条件について

- 大会参加予定校の中で、参加を辞退する学校が出た場合、専門部委員間で協議を行い、大会を中止にする場合がある。

## 2、大会参加条件について

- 以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる。
  - ①体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - ②同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ③過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合なお、2週間の健康観察はチェックシートにて行い、大会当日提出させる。

## 3、大会当日の検温における発熱者確認時の対応

- 大会会場において、発熱者が出た場合、速やかに関係者（機関）に連絡し、帰宅（受診）を促す。

## 4、大会申込後に出場を辞退する学校（チーム）がでた場合の対応

- 新型コロナウイルス感染症関連での出場辞退者（感染への不安を含む）については、参加費を返金する。

## 5、学校（チーム）応援者・観客について

- 当面の間、保護者、OB、大会に出場しない部員を含め無観客試合とする。
- 出場選手間での発声を伴う応援は禁止する。

## 6、専門部独自の感染症対策について

- 会場内の全ての参加者（役員、引率教員含む）はマスクを着用する（選手は行射中を除く）。
- 会場入り口に消毒液を置き、入場時には必ず手指の消毒を行う。
- 受付時に参加者の体温を測定する。37.5℃以上の方の入場はお断りする。
- 会場内では、他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ1m以上）を確保する。  
具体的には、
  - ①開会式・閉会式・表彰式においては、1人あたり1m以上の間隔をとって整列する。
  - ②シューティングライン上で1人あたり1mの間隔を確保する。
  - ③採点中も、選手同士が適切な距離を確保し、審判員が矢の判定で呼ばれたときは、選手を標的から遠ざけて安全な距離を確保する。